



2016年は、熊本県熊本・阿蘇地方で起きた熊本地震、鳥取県で起きた鳥取県中部地震等、日本各地で大きな地震が相次ぎました。特に4月の熊本地震は、私どもが5年前に経験した東日本大震災を思い起こさせる大きな災害でした。私どもヨークベニマル店舗は、東日本大震災の翌日には170店舗中105店舗が閉鎖に追い込まれましたが、そうした中でも従業員一人ひとりが「お客様の立場になって物事を考える」という長年培われてきた創業精神、経営理念に基づき地域の方々のために行動をしたことで、創業以来の最大の危機であった大震災を乗り越えることができたものと思っております。

災害は決して“対岸の火事”ではなく、いつまたどこで起こるかわかりません。非常時に地域のお客様が必要とするもの・情報を提供できる状態を平常時から維持することは、我々食品を扱うスーパーマーケットの使命であると考えております。

ヨークベニマルは、生活提案型食品スーパーの実現を目指し、「基本4項目(フレンドリーサービス、クリンリネス、鮮度と味の追求、品切れ防止)の徹底」、「商品開発」に取り組むとともに、地域のマーケット・ニーズに対応するため、「個店経営・部門経営」を推進しております。基本4項目のうちクリンリネスについては、2015年から2016年にかけて、お客様により安全・安心な商品をお買い求めいただくために、生鮮バックルールの清掃マニュアルを一新。今後、より衛生的に商品をつくるための環境整備を実施いたしました。

また、当社は、コンプライアンスを非常に重要なものと捉えており、“ヨークベニマル企業行動委員会”の下に、下部組織「CSRプロジェクト」を設置し、さらにそのなかに企業行動部会、消費者・公正取引部会、環境部会という三つの部会を設けて、企業姿勢が問われるあらゆるテーマについて、計画立案と実行、その検証を行っております。

ヨークベニマルは、地域社会貢献を事業活動の一つの軸として、地元の皆さまや地域社会との共生を目指し、これからも地域のお客様のお役に立ちご支持いただけるよう、努めてまいります。

今後とも、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

株式会社ヨークベニマル
代表取締役社長

真船幸夫

ごあいさつ	1	環境保全における取り組み	
経営理念	2	①CO ₂ 削減	9
ヨークベニマル企業倫理		②省エネルギー	11
地域社会貢献における取り組み		③リサイクル活動	13
①地域の未来を担う子供たちのために	3	安全・安心への取り組み	17
②地域社会との共生・連携をめざして	5	ヨークベニマルの店づくり	20
(財)ヨークベニマル文化教育事業財団	7	会社概要	21
(株)ライフフーズ	8	ヨークベニマルの店舗展開	